

一般会計歳入歳出決算額の詳細

	令和6年度	令和5年度	増減率 (%)	解説
歳 入 総 額	1,592億3,754万円	1,564億1,623万円	1.8	前年度に比べ、個人住民税の定額減税に伴う地方特例交付金は、約14.5億円の増額となりました。そのほか、地方交付税が約11.2億円、国庫支出金が約15.8億円などの増額が影響し、歳入総額は約28.2億円の増額となりました。
歳 出 総 額	1,548億707万円	1,515億9,573万円	2.1	特別融資預託金などにより商工費が約24.2億円減額となりました。一方で、低所得者支援及び定額減税補足給付金事業などにより民生費が約39.9億円、中学校校舎等大規模改修事業などにより教育費が約27.2億円の増額となり、歳出総額では約32.1億円の増額となりました。
歳入歳出差引額	44億3,047万円	48億2,050万円	△ 8.1	歳入歳出差引額は、「歳入総額」から「歳出総額」を差し引いた、形式収支と呼ばれるものです。
実 質 収 支	35億6,924万円	35億3,920万円	0.8	実質収支は、「歳入歳出差引額」から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いたものです。 このうち20億円を財政調整基金(貯金)に積み立て、残りの15億6,924万円を翌年度(令和7年度)への繰越金としました。
単 年 度 収 支	3,004万円	△ 15億7,298万円	101.9	単年度収支は、当該年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた、当該年度だけの収支の状況を見るものです。
実質単年度収支	△ 19億1,074万円	△ 44億1,623万円	-	実質単年度収支は、「単年度収支」に財政調整基金への積立金(決算余剰積立以外)と市債元金の繰上償還金を加算し、財政調整基金の取崩額を減じたもので、単年度収支に含まれている黒字要素及び赤字要素を調整した収支の額です。